



国立病院機構 賀茂精神医療センター

地域医療連携室だより vol.21



ご挨拶

平素より、ご協力をたまり、厚くお礼申し上げます。

この度令和2年4月1日、坂尾名誉院長の後任として院長に就任し、その重責を感じております。

私が平成11年に赴任した時、当院は国立療養所賀茂病院の時代で、多くの年間行事や病棟遠足、作業療法のグループ(クラブ)の遠足などに医師が参加しており、診療場面だけでなく日頃の患者さんの姿を見る機会が多くありました。そういった場面では患者さんも医師を医師として意識せず、以外な一面を見せてくれることもありました。この20年間で精神科医療は飛躍的に進歩し、当時の療養中心の医療から、退院して社会復帰を目指す治療中心の医療に変化しました。そのため入院期間は短縮し、当時のような事は少なくなっています。日本の精神科医療が発展し、収容、療養中心の医療から脱却して、地域に溶け込み生活することを目指す治療になったことは、とても望ましい変化です。しかし、患者さんに寄り添い、患者さんと共に目標を目指すという点に変わりはない、変わってはいけないというのが私の考えです。

当院は、地域の精神科医療を支えていく立場にあります。クリニックに通院している患者さんが調子を崩して入院が必要になった時、夜間や休日に急な対応が必要になった時などは出来る限りの対応をしていきます。

また、質の高い医療を提供してゆくには優秀な人材が必要です。そのために優秀な人材を育成できるような環境を作っていきます。そして育った優秀な人材が、当院だけでなく当院から巣立ち様々な医療現場で活躍する、そんな事を夢見ています。広島で愛されているプロ野球の広島カープは人材育成の得意な球団として知られています。いずれはカープのように「育成の賀茂」と言われるように。

院長 地域医療連携室長 山口 博之

地連からのご挨拶

平素は、当センターの地域医療連携に対しまして、格別な配慮とご協力を頂き、感謝申し上げます。

精神科医療の変革により、患者さんの入院は長期療養生活から在宅支援ケアへと移行してまいりました。患者さんが安全に入院生活を送ることができ、そして安心して地域へ帰っていただけるよう、地域医療連携室は、ご自身やご家族、各保健医療機関、施設等を結ぶ窓口として、患者さんに寄り添った丁寧な連携と対応を心がけております。

初診・再診・受診相談、入院のご相談については、こちらにお問い合わせください。

また、ご紹介を宜しく願いいたします。

〔問い合わせ〕 〒739-2693 広島県東広島市黒瀬町南方 92 番地
 独立行政法人国立病院機構 賀茂精神医療センター
 地域医療連携室係長 看護師長 森 雅子
 副看護師長 柳原ひろ子
 医療社会事業係長 精神保健福祉士 大歳 明子
 TEL : (0823) 82-3000 (代表)

